



自主・正義・敬愛 ~子どもは地域の宝~

福井市鷹巣中学校だより年末特大号 令和2年12月14日発行

1. 将来を思い描く- 鷹巣に育ち、鷹巣で学んだことを生涯の誇りに -

<鷹巣中学校めざす生徒象>

- (1) 夢や目標を持ち粘り強く挑戦し続ける子
- (2) 自分の思いや考えを、根拠をもとに自分の言葉で伝えられる子
- (3) 地域の人・自然・文化に積極的に関わることができる子

これら3つの目標が実現できるように、コロナ禍の中、『社会に開かれた教育課程』を再編し、教育活動に取り組んできました。これからの社会がどんなに変化して予測困難になっても、自ら考え自ら学び判断して行動できるような力を伸ばすことを第一に。『遠きに行くは、近きよりす』の通り、実現に向けて、目の前のことをちゃんとやることを心がけました。ひとつひとつやり抜くことで、自ら新しいものに気がついたり周りから力をいただいたりしたことがありました。時代の変化に生徒や学校が対応しながら、視野を広げ外の世界とつながって、地域に新しい風を吹かせます。

2. 未来はつくり出せる - 生徒たちの成果 - (1)1つのPR活動から

福井市鷹巣中学校 様

前略

2019年5月、私と家内は富山から金沢・能登方面へ旅をしていました。

金沢城公園へ立ち寄ることは私の希望でしたが、当日の天候は初夏にしては暑く、城内散策も 足早に進めようとしていました。

そんな時、お城の門の手前で、貴校の生徒さんたちが、福井のふるさとの PR をしているところに出会いました。正直、あまり気にも留めずに通り過ぎようかと思いましたが、私たちの後ろの観光客が足を止め、生徒さんたちが故郷の町の話を始めたので、「せっかくだから」と一緒に話を聞くことにしました。海がきれいなこと、温泉があること、そして、カニがおいしいこと等を伺いました。

昨年までとは一転のコロナ禍で、休みも自宅に籠る日が多くなった今夏、家内と秋になったらどこかへ出かけようという話になりました。

「去年、金沢城で出会った生徒さんたちの学校ってどこだったっけ。」と私。

「確か、『鷹何とか・・』とかじゃぁなかった?」とカミさん。

金沢での写真は1枚あったものの、その時は学校名や町の名前は思い出せませんでした。でも、 「やっぱり、カニを食べたいね。」ということで、秋に福井へ行く計画を立てました。(関東でカニを食べると高くつきますので…。)

最近家内が、生徒さんたちからもらったパンフレットや、絵葉書を見つけ出してくれました。 「やっぱり鷹巣中学校の生徒さんたちだったね。予約した宿泊先も(手作り)パンフレットに載っているよ。」と私。あの時、一生懸命故郷を PR していた生徒さんたちの姿を、改めて思い出させてもらいました。

そこで今回、「金沢城での写真」をお持ちしました。

パンフレットには「鷹巣中学校 第二学年」と記してありますので、あの時の生徒さんたちは、 今は三年生で受験前でしょうか。コロナ禍に負けず、それぞれが次の進路を目指して元気に頑張ってほしいですね。応援しています!

最後に、「素敵な旅行先を紹介してくれて、どうもありがとう。」

2020年11月20日

金沢城で出会った千葉県の旅人より

今挑戦することは、先につながっています。まいた種は、 必ず、芽を出し花を咲かす。 これからの、1年生、2年生 の総合的な学習での地域への 働きかけに期待します。



R元5月金沢校外学習PR活動

(2)1つの体験から

12月4日、1年生は雅楽体験学習を行いました。福井雅 楽会の方を講師に招き、篳篥や龍笛、笙の音色を聞いたりつ くったり演奏したりしました。鷹巣地区の伝統芸能として『糸 崎の仏舞』があります。全国8つあるうちの1つです。しか しながら、少子高齢化に伴い踊りや演奏する人が減少し継承



笙の体験

していくことが課題となってい ます。当日は、糸崎寺仏舞保存 会の水間さんにも授業を参観して



篳篥と笙の鑑賞

もらいました。一人一人が、講師の方が準備した、塩ビの筒 で龍笛や篳篥を手作りしました。担任の結川先生は、勝山出 身で篳篥、龍笛の吹き手です。生徒や先生、講師の方による 素敵な演奏会になりました。講師の方の感想です。『今日は 新しい経験させていただきありがとうございました。』と。

(3)1つの挨拶から

12月8日午前中に、トラックの運転手の方から電話がありま した。荷物の運送の途中、国道で押しボタンが押され信号が変わ り車を停めたそうです。積荷を早く届けたくて、気持ちが焦って いたときでした。男子生徒が渡った後で、振り向き帽子を脱いで 挨拶をしました。声は聞こえなかったけど、口元が『ありがとう ございました』と動くのがわかりました。そのとき、『あっ』と気 がついたそうです。『慌てたり焦ったりしてはいけない。安全運転 第一である。』と。心が洗われたようで、どうしても感謝の気持ち を伝えたくて学校に電話をかけてこられたのでした。



国道305号交差点

(4)1つの挑戦から

12月7日に県立福井大学村上教授と学生達が来校し、 世界健康フォーラム『モナリザ賞』受賞の報告を受けまし た。世界健康フォーラムとは、「食はいのち」として、「栄 養改善に努めて、一人一人の命の価値を十分に発揮」でき るように「健康寿命の延伸につながる『食育』や『食環境』

世界健康フォーラム モナリザ賞 福井市支鹰巢中学校 殿 貴グループは 「アカモクの健康効果の検証 と食育への活用」についての研究で優れた 成果をおさめてこられました ここに その栄誉を称え 世界健康フォー ラムの「モナリザ賞」として表彰すると共 に今後の研究の飛躍を期待します 令和2年12月14日 特定非常利活動法人 世界健康フロンティア研究会 理事長 家森 幸男

の改善に寄与する研究 や実践活動に対して、

毎年1つの団体を表彰 福井県立大学の皆さんと一緒に しています。」2年生は、総合的な学習テーマ『SDGs

(持続可能な開発のための17の目標)探求』を掲 げ、1年生から鷹巣地区にある資源

(自然、歴史文化など)に関わって学 習を継続してきました。

今年度、鷹巣海岸で獲れるアカモ

クに着目しまし た。鷹巣漁業協同 組合や福井県立大 学と連携して、鷹 巣産のアカモクを 健康食材にした料



アカモクを食材にした調理実習

理に挑戦しました。県立大学と協同で、アカモクを 摂取することが健康増進につながることを検証し、 その成果を令和3年世界に発信する予定です。